

令和 6 年度

決 算 ・ 業 務 実 績 の 概 要

地方独立行政法人山口県立病院機構

目 次

1. 総合医療センターの決算見込み（損益計算書ベース）について	1
2. こころの医療センターの決算見込み（損益計算書ベース）について	5
3. 山口県立病院機構の決算見込み（損益計算書ベース）について	9
4. 令和6年度収支実績の前年度対比	13
5. 令和6年度収支計画と収支実績の対比	15
6. 令和6年度業務実績評価	17

総合医療センターの決算見込み（損益計算書ベース）について

1 令和 6 年度決算の概況（本部費配賦額込）

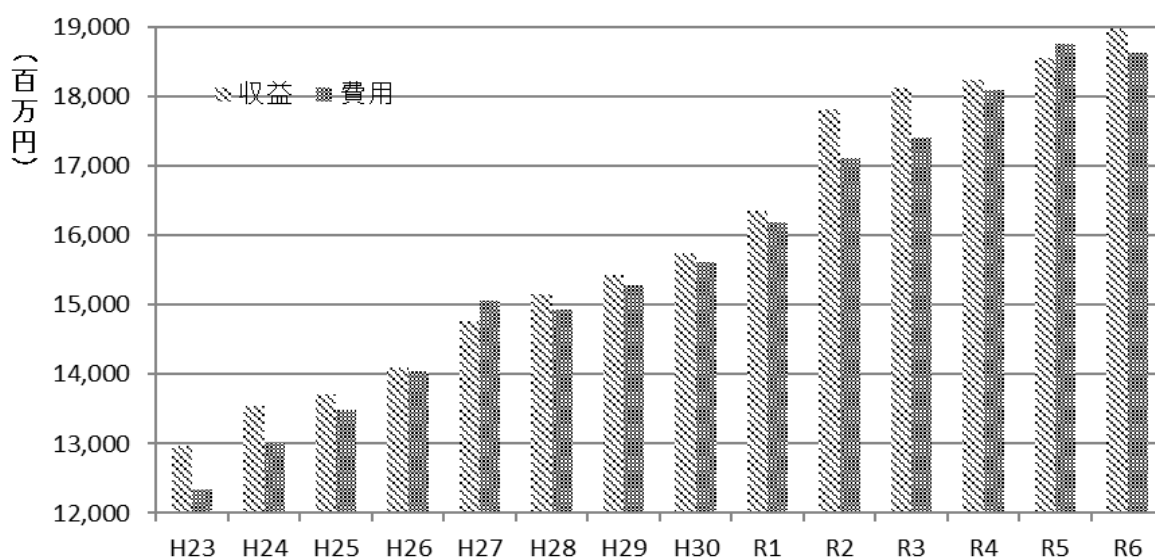
決 算 規 模	[収 益] 189 億 8,200 万円(対前年度比+4 億 2,100 万円 + 2.3%) [費 用] 186 億 3,400 万円(対前年度比▲1 億 3,000 万円 ▲0.7%)
収益の状況	○ 医業収益は、病床利用率の向上及び入院延べ患者数の増等により増加、ただし全体的に伸び悩みの状況にある。
費用の状況	○ 医業費用は、退職給付引当金繰入額(親鉦出額)等の減により減少
経 常 損 益	○ 3 億 9,000 万円の黒字
純 損 益	○ 3 億 4,700 万円の黒字
総 損 益	○ 4 億 2,400 万円の黒字 ※目的積立金取崩額 7,700 万円を含む

(注) 表示単位未満を四捨五入しているため、各計の数値が、表内計算数値と一致しない場合がある。(以下同じ)

2 決算規模・決算収支等

- 決算規模は、収益 189 億 8,200 万円、費用 186 億 3,400 万円となり、各損益の段階で黒字化。
- しかしながら、黒字化の主因は、退職給付引当金繰入額等の減であるため、資金収支の改善には至っておらず、減損兆候にある。

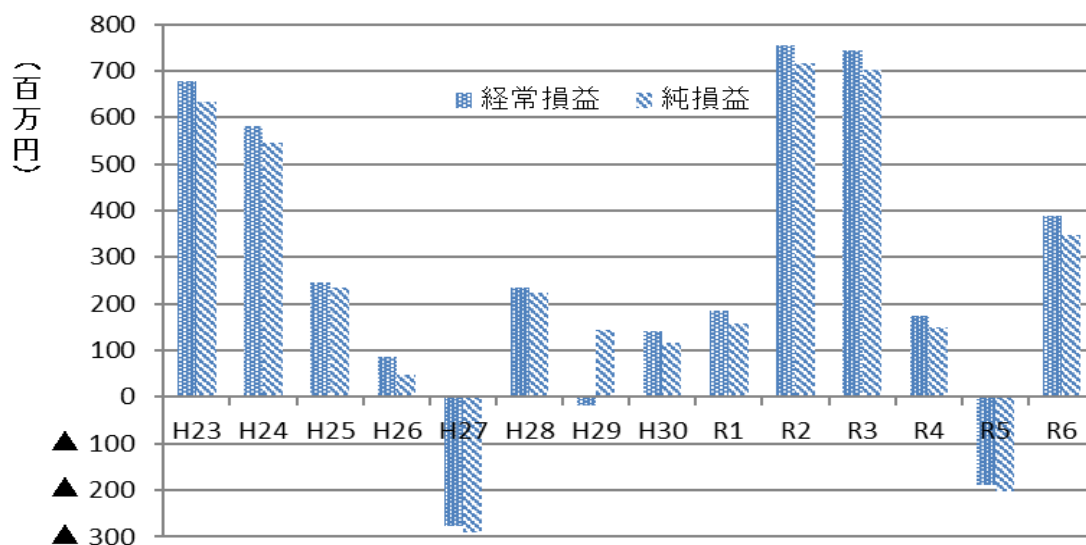
(1) 決算規模の推移



(単位: 百万円、%)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
収 益	12,970	13,547	13,716	14,094	14,771	15,153	15,434	15,737	16,347	17,822	18,121	18,249	18,561	18,982
前年度比	-	4.4	1.2	2.8	4.8	2.6	1.9	2.0	3.9	9.0	1.7	0.7	1.7	2.3
費 用	12,335	13,002	13,482	14,046	15,062	14,929	15,291	15,622	16,190	17,107	17,418	18,101	18,764	18,634
前年度比	-	5.4	3.7	4.2	7.2	▲ 0.9	2.4	2.2	3.6	5.7	1.8	3.9	3.7	▲ 0.7

(2) 決算収支（経常損益・純損益）の推移



※平成27年度の経常損益、純損益の赤字は、市場金利の低下により将来の退職金給付による費用を計上したため

(単位: 百万円)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
経常損益	678	581	245	87	▲278	234	▲20	140	184	754	745	174	▲188	390
純損益	635	545	234	48	▲291	224	143	115	157	715	703	148	▲203	347

■黒字に至った要因について

日銀が令和7年1月に政策金利を引上げ（0.25%→0.5%）、その後、市場金利が上昇したことから、退職給付引当金（退職給付債務）に関し、金利上昇による理論上の運用益が見込まれたため、費用としての退職給付引当金繰入額が減少したことに加え、併せて、電子カルテシステムの減価償却が終了したことにより、黒字に至ったもの。

3 目的積立金取崩額について

(単位: 百万円、%)

区 分	金額 (収支ベース)
I 医療従事者等確保積立金	67
①現医療従事者等の処遇向上	14
医師のインセンティブ制度	1
看護師の処遇向上（夜勤協力手当等）	13
②医師の確保（てんかん支援拠点病院運営）	1
③看護師の確保（山口県看護協会との連携、看護師修学資金支援等）	23
④薬剤師の確保（山口東京理科大との連携等）	7
⑤臨床工学技士の確保（能力向上研修等）	2
⑥総合的な医療従事者等の確保（山口大学附属病院等への出捐）	20
II 施設・設備整備等積立金	27
①機器等整備費（勤怠管理システム運用等）	6
②設置等工事費	21
合 計	94

4 収益

- 医業収益は、新規入院患者の増等により、前年度比＋8億6,600万円（＋5.3％）
 - ・入院診療収益は、循環器内科や整形外科などの新規入院患者の増等により前年度比＋6億9,500万円（＋5.9％）
 新規入院患者数 R5：11,055人→R6：11,413人（＋358人）
 - ・しかしながら、診療単価は減少（ICU、NICUの類下げ、HCUの稼働停止等）し、また、病床利用率も採算ベース（85％程度）までの回復には至っていない。
 - ・外来診療収益は、診療単価（薬物療法や透析患者等）の増等により前年度比＋1億6,900万円（＋4.0％）

（単位 百万円、％）

区 分	R6	R5	比 較	
			増減額	増減率
営業収益	18,833	18,483	350	1.9
うち医業収益	17,241	16,375	866	5.3
うち入院診療収益	12,533	11,838	695	5.9
うち外来診療収益	4,436	4,267	169	4.0
うち運営費負担金	1,239	1,311	▲ 72	▲ 5.5
うち補助金収益	103	551	▲ 448	▲ 81.3
営業外収益	84	78	6	7.7
うち運営費負担金	6	5	1	20.0
臨時利益	65	0	65	－
総 収 益	18,982	18,561	421	2.3
目的積立金取崩額	77	56	21	－
合 計	19,059	18,617	442	2.4

運営費負担金合計	1,245	1,316	▲ 71	▲ 5.4
----------	-------	-------	------	-------

（注）表示単位未満を四捨五入しているため、各計の数値が、表内計算数値と一致しない場合がある。（以下同じ）

（単位 百万円）

区 分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
営業収益	12,851	13,434	13,578	13,994	14,651	15,044	15,164	15,594	16,256	17,754	18,053	18,171	18,483	18,833
うち医業収益	11,146	11,838	12,243	12,599	13,265	13,647	13,848	14,265	14,936	14,619	14,540	15,399	16,375	17,241
うち入院診療収益	8,308	8,917	9,398	9,602	10,020	10,148	10,332	10,623	11,020	10,783	10,346	11,161	11,838	12,533
うち外来診療収益	2,550	2,676	2,607	2,760	2,985	3,220	3,233	3,369	3,648	3,607	3,910	4,007	4,267	4,436
うち運営費負担金	1,539	1,422	1,153	1,161	1,156	1,155	1,082	1,085	1,092	1,202	1,384	1,323	1,311	1,239
うち補助金	99	90	75	103	69	64	64	72	76	1,767	1,877	1,194	551	103
営業外収益	117	113	139	100	120	109	100	143	91	68	68	77	78	84
うち運営費負担金	37	32	26	23	21	14	12	10	8	7	6	5	5	6
臨時利益	2	0	0	0	0	0	170	0	0	0	0	1	0	65
総 収 益	12,970	13,547	13,716	14,094	14,771	15,153	15,434	15,737	16,347	17,822	18,121	18,249	18,561	18,982
目的積立金取崩額												71	56	77
合 計	12,970	13,547	13,716	14,094	14,771	15,153	15,434	15,737	16,347	17,822	18,121	18,320	18,617	19,059
運営費負担金合計	1,576	1,454	1,179	1,184	1,177	1,169	1,094	1,095	1,100	1,209	1,390	1,328	1,316	1,245

5 費用

- 医業費用は、給与費や減価償却費の減により、前年度比▲1億1,200万円(▲0.6%)
- ・給与費は、退職給付引当金繰入額の減により減少。ただし、これは、市場金利に連動した一過性のもの。
 - ・材料費は、手術件数の伸びに応じた診療材料費の増や薬物療法の増による医薬品費の増により増加
 - ・経費は、医療機器などの機器賃借料の増等により増加
 - ・減価償却費は、電子カルテの償却終了による減により減少

(単位 百万円、%)

区 分	R6	R5	比 較	
			増減額	増減率
営業費用	18,514	18,732	▲ 218	▲ 1.2
医業費用	17,631	17,743	▲ 112	▲ 0.6
うち給与費	8,565	8,863	▲ 298	▲ 3.4
うち材料費	5,293	5,085	208	4.1
うち経費	2,670	2,530	140	5.5
うち減価償却費	992	1,168	▲ 176	▲ 15.1
うちその他医業費用	112	96	16	16.7
本部配賦額	80	158	▲ 78	▲ 49.4
控除対象外消費税等	803	831	▲ 28	▲ 3.4
営業外費用	12	16	▲ 4	▲ 25.0
臨時損失	108	16	92	575.0
総 費 用	18,634	18,764	▲ 130	▲ 0.7

(注) 表示単位未満を四捨五入しているため、各計の数値が、表内計算数値と一致しない場合がある。(以下同じ)

(単位 百万円)

区 分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
営業費用	12,226	12,910	13,425	13,966	15,007	14,894	15,259	15,531	16,149	17,054	17,365	18,063	18,732	18,514
医業費用	11,777	12,490	13,007	13,298	14,350	14,272	14,651	14,827	15,397	16,099	16,461	17,165	17,743	17,631
うち給与費	6,079	6,201	6,388	6,743	7,420	7,179	7,506	7,587	7,622	8,194	8,284	8,663	8,863	8,565
うち材料費	3,244	3,400	3,617	3,591	3,790	3,941	4,078	4,217	4,511	4,460	4,518	4,754	5,085	5,293
うち経費	1,584	1,802	1,909	1,936	1,979	1,956	2,031	1,984	2,088	2,249	2,289	2,476	2,530	2,670
うち減価償却費	838	1,048	1,043	973	1,108	1,149	986	987	1,126	1,169	1,338	1,218	1,168	992
うちその他医業費用	33	40	51	54	53	48	49	53	49	26	33	54	96	112
本部配賦額	126	120	123	117	168	120	95	111	96	109	152	110	158	80
控除対象外消費税等	323	300	295	552	489	502	514	593	656	847	752	788	831	803
営業外費用	64	56	46	41	45	24	20	66	14	14	11	12	16	12
臨時損失	45	36	11	39	10	10	12	25	27	40	42	26	16	108
総 費 用	12,335	13,002	13,482	14,046	15,062	14,929	15,291	15,622	16,190	17,107	17,418	18,101	18,764	18,634

※本部配賦額は、R5年度から労務比率の見直しにより、8(総合):2(こころ)に割合変更

こころの医療センターの決算見込み（損益計算書ベース）について

1 令和 6 年度決算の概況（本部費配賦額込）

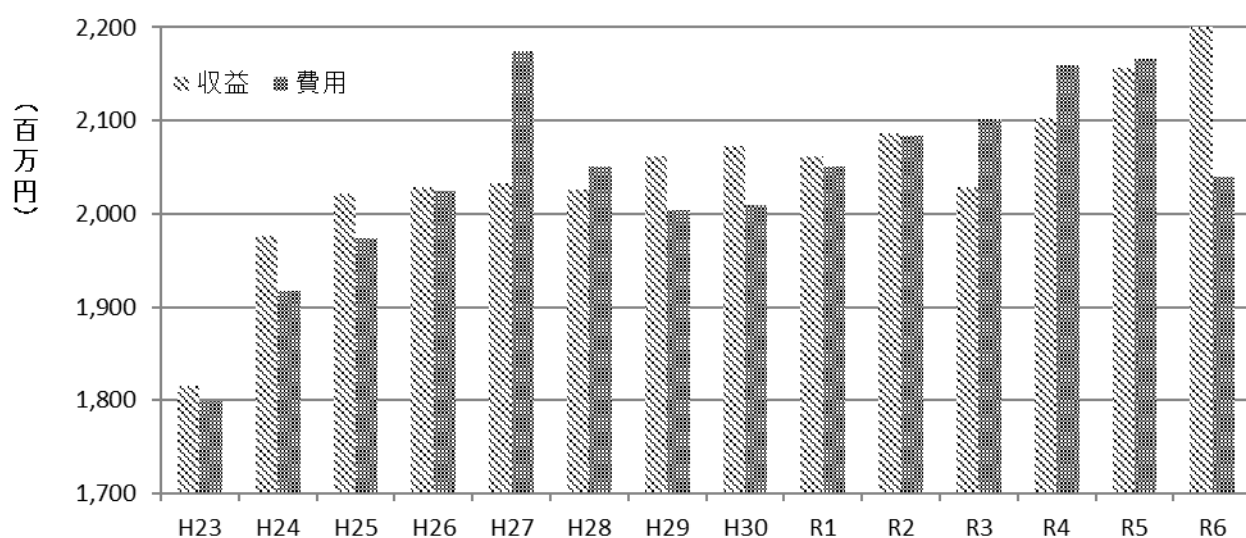
決 算 規 模	[収 益] 22 億 3,100 万円（対前年度比 +7,400 万円 +3.4%） [費 用] 20 億 3,900 万円（対前年度比▲1 億 2,700 万円▲5.9%）
収益の状況	○ 医業収益は、輪番病院加入以降の入院収益の増や運営費負担金の増により増加
費用の状況	○ 医業費用は、退職給付引当金繰入額（非金銭支出）の減により減少
経 常 損 益	○ 1 億 7,900 万円の黒字
純 損 益	○ 1 億 9,300 万円の黒字
総 損 益	○ 1 億 9,500 万円の黒字 ※目的積立金取崩額 300 万円を含む

（注）表示単位未満を四捨五入しているため、各計の数値が、表内計算数値と一致しない場合がある。（以下同じ）

2 決算規模・決算収支等

- 決算規模は、収益 22 億 3,100 万円、費用 20 億 3,900 万円となり、前年度決算額より収益は増加し、費用は減少
- 経常損益、純損益ともに黒字化し、運営費負担金の見直し（増額）により資金収支が改善したため、減損の兆候が無くなった。

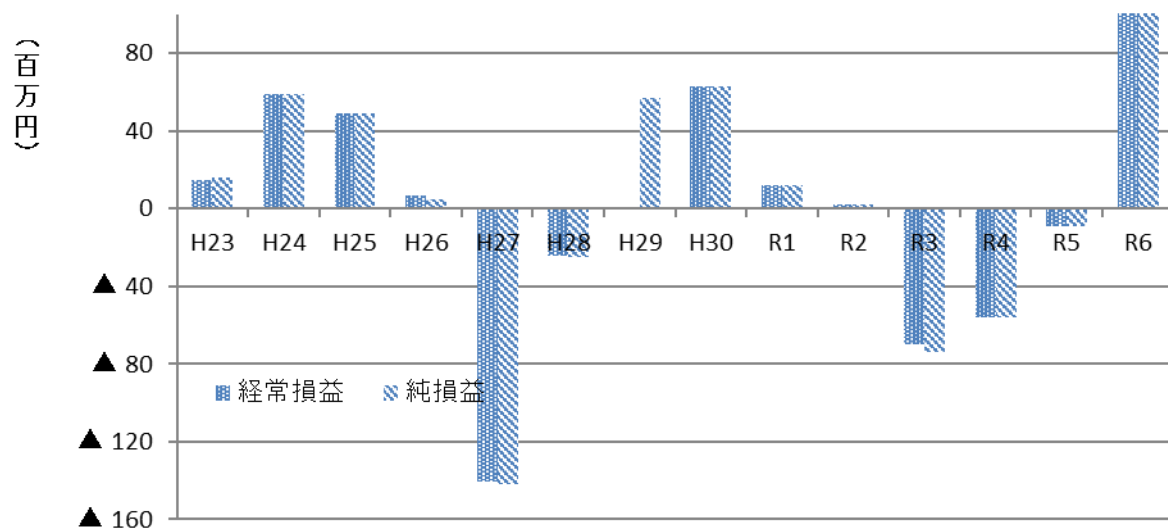
(1) 決算規模の推移



（単位 百万元、%）

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
収 益	1,815	1,976	2,022	2,029	2,033	2,026	2,061	2,072	2,061	2,086	2,028	2,103	2,157	2,231
前年度比	-	8.9	2.3	0.3	0.2	▲ 0.3	1.7	0.5	▲ 0.5	1.2	▲ 2.8	3.7	2.6	3.4
費 用	1,799	1,917	1,973	2,024	2,175	2,051	2,004	2,009	2,049	2,084	2,102	2,159	2,166	2,039
前年度比	-	6.6	2.9	2.6	7.5	▲ 5.7	▲ 2.3	0.2	2.0	1.7	0.9	2.7	0.3	▲ 5.9

(2) 決算収支（経常損益・純損益）の推移



※平成27年度の経常損益、純損益の赤字は、市場金利の低下により将来の退職金給付による費用を計上したため

(単位 百万円)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
経 常 損 益	15	59	49	7	▲141	▲24	0	63	12	2	▲70	▲56	▲9	179
純 損 益	16	59	49	5	▲142	▲25	57	63	12	2	▲74	▲56	▲9	193

3 目的積立金取崩額の内訳

(単位 百万円、%)

区 分	金額 (収支ベース)
I 医療従事者等確保積立金	3
①現医療従事者等の処遇向上	3
医師のインセンティブ制度	1
看護師の処遇向上（夜間保育料全額支給等）	2
合 計	3

4 収益

- 医業収益は、入院延患者数の減等により、前年度比▲5,100万円（▲3.1%）
 - ・入院診療収益は、精神科救急延患者数の減等により減少
 - ・外来診療収益は、減少傾向にあったデイケアの患者数回復等により増加
- 運営費負担金の見直し（増額）により、医業収支の減少を下支えした

（単位 百万円、％）

区 分	R6	R5	比 較	
			増減額	増減率
営業収益	2,194	2,137	57	2.7
うち医業収益	1,573	1,624	▲ 51	▲ 3.1
うち入院診療収益	1,365	1,420	▲ 55	▲ 3.9
うち外来診療収益	208	204	4	2.0
うち運営費負担金	537	408	129	31.6
うち補助金	8	31	▲ 23	▲ 74.2
営業外収益	18	21	▲ 3	▲ 14.3
うち運営費負担金	8	8	0	0.0
臨時利益	19	0	19	－
総 収 益	2,231	2,157	74	3.4
目的積立金取崩額	3	3	0	－
合 計	2,234	2,160	74	3.4
運営費負担金合計	544	415	129	31.1

（注）表示単位未満を四捨五入しているため、各計の数値が、表内計算数値と一致しない場合がある。（以下同じ）

（単位 百万円）

区 分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
営業収益	1,779	1,948	1,995	2,007	2,011	2,007	1,987	2,056	2,047	2,071	2,013	2,085	2,137	2,194
うち医業収益	1,392	1,394	1,520	1,566	1,563	1,542	1,519	1,596	1,582	1,522	1,506	1,578	1,624	1,573
うち入院診療収益	1,228	1,203	1,323	1,357	1,351	1,323	1,300	1,370	1,351	1,304	1,284	1,369	1,420	1,365
うち外来診療収益	163	191	196	208	211	218	219	225	231	217	221	208	204	208
うち運営費負担金	313	382	352	350	367	381	395	386	393	393	380	400	408	537
うち補助金	33	121	34	3	3	2	2	3	2	87	54	31	31	8
営業外収益	35	28	26	22	22	19	17	16	14	15	15	18	21	18
うち運営費負担金	29	21	20	17	16	15	11	10	10	9	8	8	8	8
臨時利益	1	0	0	0	0	0	56	0	0	0	0	0	0	19
総 収 益	1,815	1,976	2,022	2,029	2,033	2,026	2,061	2,072	2,061	2,086	2,028	2,103	2,157	2,231
目的積立金取崩額												3	3	3
合 計	1,815	1,976	2,022	2,029	2,033	2,026	2,061	2,072	2,061	2,086	2,028	2,106	2,160	2,234
運営費負担金合計	342	403	372	367	383	396	406	396	403	402	388	408	415	544

5 費用

- 医業費用は、給与費の減等により前年度比▲1億2,000万円（▲5.8%）
 - ・給与費は、退職給付引当金繰入額の減により減少。ただし、これは、市場金利に連動した一過性のもの
 - ・材料費は、高額医薬品の増加に伴う医薬品費の増等により増加

（単位 百万円、％）

区 分	R6	R5	比 較	
			増減額	増減率
営業費用	2,016	2,149	▲ 133	▲ 6.2
医業費用	1,940	2,060	▲ 120	▲ 5.8
うち給与費	1,352	1,477	▲ 125	▲ 8.5
うち材料費	105	100	5	5.0
うち経費	345	347	▲ 2	▲ 0.6
うち減価償却費	128	128	0	0.0
うちその他医業費用	10	8	2	—
本部配賦額	20	39	▲ 19	▲ 48.7
控除対象外消費税等	56	49	7	14.3
営業外費用	17	17	0	0.0
臨時損失	6	0	6	—
総 費 用	2,039	2,166	▲ 127	▲ 5.9

（注）表示単位未満を四捨五入しているため、各計の数値が、表内計算数値と一致しない場合がある。（以下同じ）

（単位 百万円）

区 分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
営業費用	1,741	1,874	1,933	1,988	2,143	2,021	1,982	1,987	2,030	2,066	2,081	2,140	2,149	2,016
医業費用	1,699	1,812	1,895	1,943	2,092	1,976	1,941	1,945	1,983	2,007	2,022	2,085	2,060	1,940
うち給与費	1,187	1,273	1,302	1,354	1,506	1,397	1,371	1,364	1,415	1,439	1,428	1,468	1,477	1,352
うち材料費	78	87	93	89	94	99	87	88	90	89	91	97	100	105
うち経費	233	251	267	262	259	249	255	269	274	279	288	321	347	345
うち減価償却費	193	190	225	230	224	224	222	218	198	199	212	192	128	128
うちその他医業費用	8	11	8	8	9	7	7	6	6	2	2	7	8	10
本部配賦額	16	15	15	15	21	15	11	12	11	12	17	11	39	20
控除対象外消費税等	26	48	23	30	30	30	29	30	36	47	43	44	49	56
営業外費用	58	44	39	34	32	29	23	21	19	18	17	19	17	17
臨時損失	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	4	0	0	6
総 費 用	1,799	1,917	1,973	2,024	2,175	2,051	2,004	2,009	2,049	2,084	2,102	2,159	2,166	2,039

※本部配賦額は、R5年度から労務比率の見直しにより、8（総合）：2（こころ）に割合変更

山口県立病院機構の決算見込み（損益計算書ベース）について

1 令和 6 年度決算の概況

決 算 規 模	[収 益] 213 億 8,300 万円（対前年度比 +4 億 8,400 万円 +2.3%） [費 用] 208 億 4,400 万円（対前年度比 ▲2 億 6,700 万円 ▲1.3%）
収益の状況	○ 医業収益は、入院診療収益の増等により増加
費用の状況	○ 医業費用は、退職給付引当金繰入額（ 繰入金支出額 ）等の減により減少
経 常 損 益	○ 5 億 7,000 万円の黒字
純 損 益	○ 5 億 4,000 万円の黒字
総 損 益	○ 6 億 1,900 万円の黒字 ※目的積立金取崩額 7,900 万円を含む

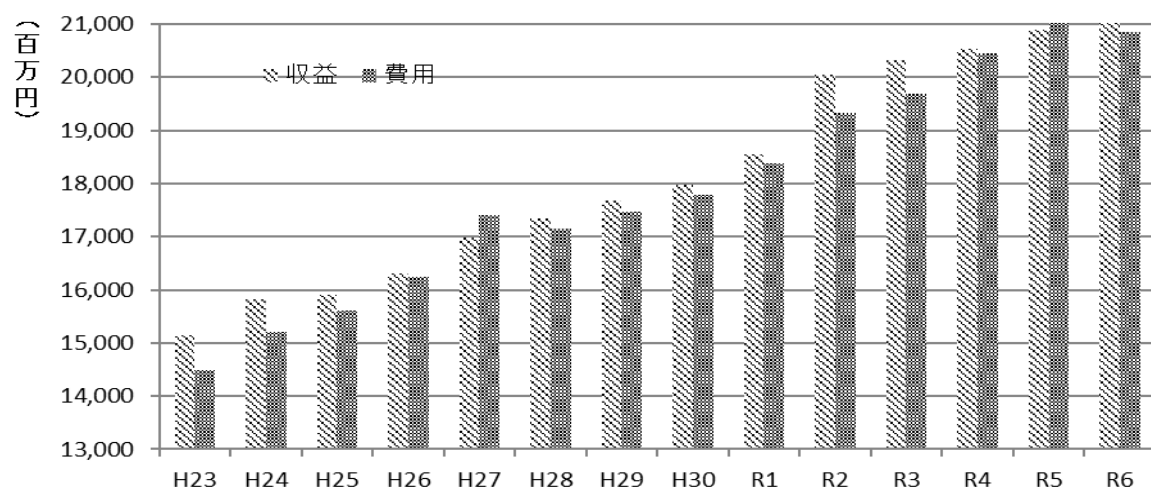
利 益 剰 余 金	○ 残高は、26 億 2,500 万円
-----------	---------------------

（注）表示単位未満を四捨五入しているため、各計の数値が、表内計算数値と一致しない場合がある。（以下同じ）

2 決算規模・決算収支等

- 決算規模は、収益 213 億 8,300 万円、費用 208 億 4,400 万円となり、前年度比で収益は増加し、費用は減少
- 経常損益、純損益ともに黒字。しかしながら、黒字化の主因は、退職給付引当金繰入額等の減であるため、機構全体での資金収支の改善には至っていない。

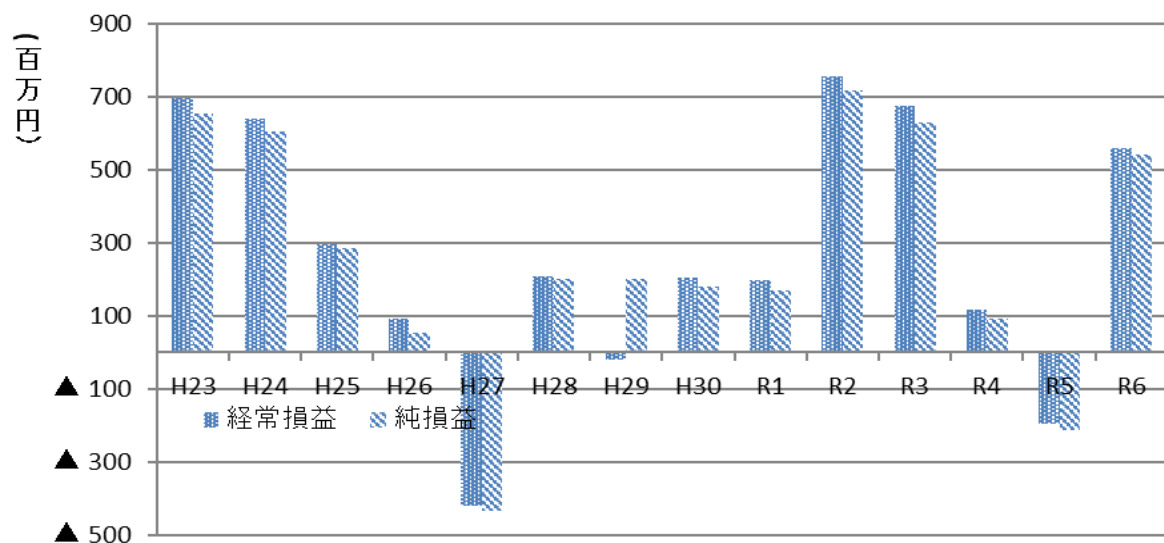
(1) 決算規模の推移



（単位: 百万円、%）

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
収 益	15,134	15,819	15,904	16,304	16,981	17,350	17,674	17,975	18,558	20,055	20,324	20,539	20,899	21,383
前年度比	-	4.5	0.5	2.5	4.2	2.2	1.9	1.7	3.2	8.1	1.3	1.1	1.8	2.3
費 用	14,482	15,215	15,620	16,251	17,414	17,151	17,474	17,797	18,388	19,338	19,695	20,447	21,111	20,844
前年度比	-	5.1	2.7	4.0	7.2	▲1.5	1.9	1.8	3.3	5.2	1.8	3.8	3.2	▲1.3

(2) 決算収支（経常損益・純損益）の推移

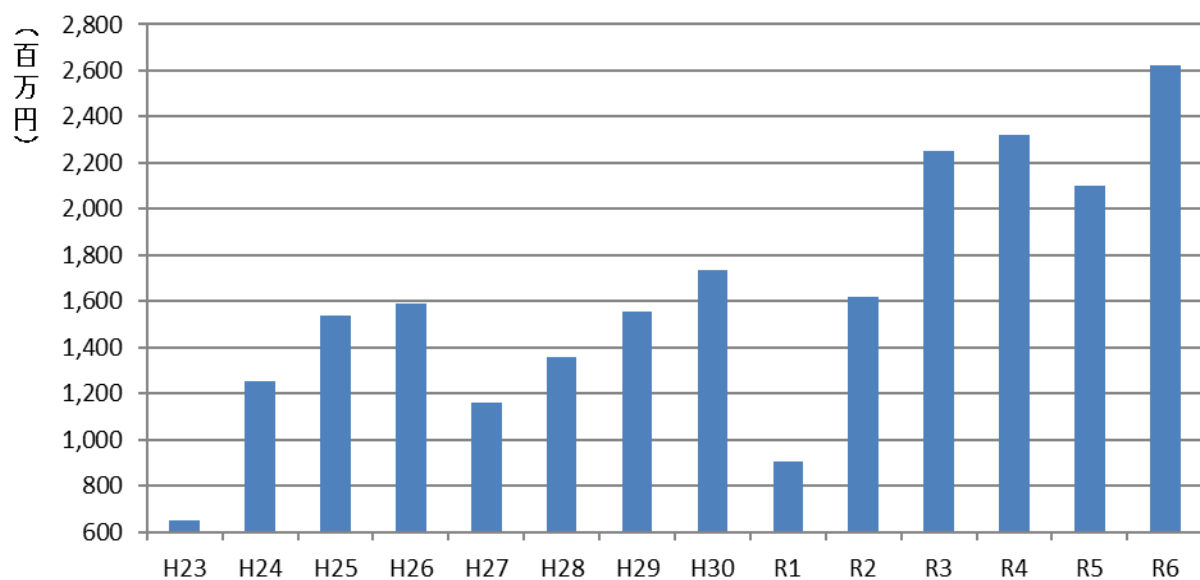


(単位: 百万円)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
経常損益	694	639	294	93	▲420	209	▲19	203	197	756	675	118	▲196	570
純損益	652	604	283	53	▲433	199	199	178	170	717	629	92	▲212	540

3 利益剰余金残高

○ 利益剰余金は、純損益の黒字により増加し、前年度比+5億2,200万円



(単位: 百万円)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
利益剰余金	652	1,255	1,539	1,591	1,159	1,357	1,557	1,734	904	1,621	2,250	2,318	2,103	2,625
前年度比	-	92.5	22.6	3.4	▲27.2	17.1	14.7	11.4	▲47.9	79.3	38.8	3.0	▲9.3	24.8

4 収益

- 医業収益は、新規入院患者の増等により、前年度比+8億1,500万円(+4.5%)
 - ・入院診療収益は、総合Cにおける循環器内科や整形外科などの新規入院患者の増等により前年度比+6億3,900万円(+4.8%)
 - ・しかしながら、総合Cの診療単価は減少（ICU、NICUの類下げ、HCUの稼働停止等）し、また、病床利用率も採算ベース（85%程度）までの回復には至っていない。
 - ・両病院の外来診療収益は、診療単価（薬物療法や透析患者等）の増等により前年度比+1億7,300万円(+3.9%)

(単位 百万円、%)

区 分	R6	R5	比 較	
			増減額	増減率
営業収益	21,197	20,800	397	1.9
うち医業収益	18,813	17,998	815	4.5
うち入院診療収益	13,897	13,258	639	4.8
うち外来診療収益	4,644	4,471	173	3.9
うち運営費負担金	1,946	1,899	47	2.5
うち補助金	111	582	▲ 471	▲ 80.9
営業外収益	102	99	3	3.0
うち運営費負担金	14	13	1	7.7
臨時利益	85	0	85	－
総 収 益	21,383	20,899	484	2.3
目的積立金取崩額	79	59	20	－
合 計	21,462	20,957	505	2.4
運営費負担金合計	1,960	1,912	48	2.5

(注) 表示単位未満を四捨五入しているため、各計の数値が、表内計算数値と一致しない場合がある。(以下同じ)

(単位 百万円)

区 分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
営業収益	14,978	15,678	15,738	16,181	16,839	17,222	17,325	17,816	18,453	19,972	20,241	20,443	20,800	21,197
うち医業収益	12,538	13,232	13,763	14,164	14,828	15,189	15,367	15,861	16,518	16,141	16,046	16,977	17,998	18,813
うち入院診療収益	9,537	10,120	10,722	10,959	11,371	11,471	11,632	11,993	12,371	12,087	11,630	12,530	13,258	13,897
うち外来診療収益	2,713	2,866	2,803	2,968	3,196	3,438	3,452	3,594	3,878	3,824	4,131	4,215	4,471	4,644
うち運営費負担金	2,200	2,100	1,670	1,692	1,700	1,708	1,650	1,637	1,634	1,742	1,938	1,883	1,899	1,946
うち補助金	132	211	108	106	72	66	65	75	78	1,854	1,930	1,225	582	111
営業外収益	153	141	165	122	142	128	118	159	104	82	83	95	99	102
うち運営費負担金	66	53	45	40	37	28	23	20	18	16	14	13	13	14
臨時利益	3	0	0	0	0	0	232	0	0	0	0	1	0	85
総 収 益	15,134	15,819	15,904	16,304	16,981	17,350	17,674	17,975	18,558	20,055	20,324	20,539	20,899	21,383
目的積立金取崩額												74	59	78
合 計	15,134	15,819	15,904	16,304	16,981	17,350	17,674	17,975	18,558	20,055	20,324	20,613	20,957	21,462
運営費負担金合計	2,266	2,153	1,715	1,732	1,737	1,736	1,673	1,657	1,652	1,758	1,952	1,896	1,912	1,960

5 費用

- 医業費用は、給与費や減価償却費の減により、前年度比▲2億3,200万円(▲1.2%)
- ・給与費は、退職給付引当金繰入額の減により減少。ただし、これは、市場金利に連動した一過性のもの
 - ・材料費は、手術件数の伸びに応じた診療材料費の増や薬物療法の増による医薬品費の増により増加
 - ・経費は、医療機器などの機器賃借料の増等により増加

(単位 百万円、%)

区 分	R6	R5	比 較	
			増減額	増減率
営業費用	20,700	21,061	▲ 361	▲ 1.7
医業費用	19,571	19,803	▲ 232	▲ 1.2
うち給与費	9,917	10,340	▲ 423	▲ 4.1
うち材料費	5,398	5,185	213	4.1
うち経費	3,015	2,877	138	4.8
うち減価償却費	1,120	1,296	▲ 176	▲ 13.6
うちその他医業費用	121	105	16	15.2
一般管理費	266	373	▲ 107	▲ 28.7
控除対象外消費税等	863	885	▲ 22	▲ 2.5
営業外費用	30	33	▲ 3	▲ 9.1
臨時損失	115	16	99	618.8
総 費 用	20,844	21,111	▲ 267	▲ 1.3

(注) 表示単位未満を四捨五入しているため、各計の数値が、表内計算数値と一致しない場合がある。(以下同じ)

(単位 百万円)

区 分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
営業費用	14,315	15,080	15,524	16,135	17,323	17,087	17,419	17,685	18,328	19,267	19,620	20,389	21,061	20,700
医業費用	13,476	14,302	14,902	15,241	16,442	16,247	16,592	16,772	17,380	18,106	18,483	19,250	19,803	19,571
うち給与費	7,266	7,473	7,690	8,098	8,926	8,575	8,877	8,950	9,036	9,633	9,712	10,131	10,340	9,917
うち材料費	3,322	3,487	3,710	3,680	3,884	4,040	4,166	4,306	4,602	4,549	4,609	4,852	5,185	5,398
うち経費	1,816	2,053	2,176	2,198	2,238	2,204	2,286	2,252	2,362	2,529	2,577	2,796	2,877	3,015
うち減価償却費	1,031	1,238	1,267	1,203	1,332	1,373	1,208	1,204	1,324	1,368	1,550	1,410	1,296	1,120
うちその他医業費用	41	51	59	62	62	55	56	59	55	56	35	61	105	121
一般管理費	489	429	302	311	359	305	280	287	254	261	340	305	373	266
控除対象外消費税等	350	349	319	584	522	535	547	626	694	900	798	834	885	863
営業外費用	122	100	85	75	77	54	43	87	33	32	28	31	33	30
臨時損失	45	36	11	41	13	10	13	25	27	40	46	27	16	115
総 費 用	14,482	15,215	15,620	16,251	17,414	17,151	17,474	17,797	18,388	19,338	19,695	20,447	21,111	20,844

令和6年度収支実績の前年度対比

山口県立病院機構

【医業収益】

入院診療収益は、新規入院患者の増等により増加
外来診療収益は、診療単価の増等により増加

【医業費用】

給与費は、退職給付費用の減により減少
材料費は、診療材料費や医薬品費の増により増加
経費は、医療機器などの機器賃借料の増等により増加
減価償却費は、無形固定資産減価償却費の減等により減少

◆対比表（損益計算書ベース）

（単位 千円）

区 分	R5	R6	差額	主な増減内容（前年度対比）
収益の部	20,898,597	21,383,403	484,806	
営業収益	20,799,583	21,196,703	397,120	
医業収益	17,998,369	18,813,473	815,104	
うち入院診療収益	13,257,813	13,897,196	639,383	新規入院患者の増（総合C）
うち外来診療収益	4,470,627	4,643,530	172,903	診療単価の増（総合C）
運営費負担金収益	1,899,428	1,946,419	46,991	
補助金収益	581,599	111,169	△ 470,430	
その他営業収益	320,186	325,641	5,455	
営業外収益	98,537	102,094	3,557	
運営費負担金収益	12,651	13,984	1,333	
その他営業外収益	85,886	88,107	2,221	
臨時利益	478	84,607	84,129	
費用の部	21,110,761	20,843,786	△ 266,975	
営業費用	21,061,187	20,699,730	△ 361,457	
医業費用	19,803,224	19,571,024	△ 232,200	
給与費	10,339,800	9,917,278	△ 422,522	退職給付費用の減による減
材料費	5,185,385	5,397,527	212,142	診療材料費や医薬品費の増による増
経費	2,877,062	3,015,191	138,129	機器賃借料の増等による増
減価償却費	1,296,277	1,119,870	△ 176,407	無形固定資産減価償却費の減等
その他医業費用	104,699	121,157	16,458	
一般管理費	373,443	265,816	△ 107,627	
控除対象外消費税等	884,520	862,890	△ 21,630	
営業外費用	33,349	29,507	△ 3,842	
臨時損失	16,226	114,550	98,324	
当期純利益	△212,164	539,616	751,780	
目的積立金取崩額	58,827	79,190	20,363	
（経常利益）	△196,416	569,558	765,974	

（注）表示単位未満を四捨五入しているため、表内計算数値と一致しない場合がある。

◆令和6年度収支実績の前年度対比表(部門別内訳)

前 年 度 対 比

(単位:千円)

区分	R5収支実績 A				R6収支実績 B				差額 (B-A)				主な増減理由(前年度対比)			
	総合C	ところC	本部	計	総合C	ところC	本部	計	総合C	ところC	本部	計	総合C	ところC	本部	本部
収益の部																
営業収益	18,560,824	2,157,310	180,463	20,898,597	18,981,973	2,231,289	170,141	21,383,403	421,149	73,979	△10,322	484,806				
医療収益	18,482,550	2,136,570	180,463	20,799,583	18,832,560	2,194,284	169,859	21,196,703	350,010	57,714	△10,604	397,120				
うち入院診療収益	16,374,532	1,623,837	0	17,998,369	17,240,508	1,572,965	0	18,813,473	865,976	△50,872	0	815,104				
うち外来診療収益	11,838,071	1,419,742	0	13,257,813	12,532,635	1,364,561	0	13,897,196	694,564	△55,181	0	639,383	新規入院患者の増 (11,055人→11,413人)	入院延患者数の減 (61,299人→57,360人)		
運営費負担金収益	4,266,941	203,686	0	4,470,627	4,435,876	207,654	0	4,643,530	168,935	3,968	0	172,903	診療単価の増 (20,643円→21,703円)	外来延患者数の増 (27,378人→27,649人)		
補助金収益	550,842	30,757	0	581,599	102,744	8,425	0	111,169	△448,098	△22,332	0	△470,430	建設改良に要する経費の減	精神病院の運営に要する経費の増		
その他営業収益	245,936	74,250	0	320,186	250,129	75,512	0	325,641	4,193	1,262	0	5,455				
営業外収益	77,796	20,740	0	98,537	84,356	17,737	0	102,094	6,560	△3,003	0	3,557				
運営費負担金収益	4,915	7,736	0	12,651	6,165	7,819	0	13,984	1,250	83	0	1,333				
その他営業外収益	72,881	13,004	0	85,886	78,189	9,917	0	88,107	5,308	△3,087	0	2,221				
臨時利益	478	0	0	478	65,057	19,268	282	84,607	64,579	19,268	282	84,129				
費用の部	18,606,595	2,126,556	377,611	21,110,761	18,554,987	2,018,780	270,020	20,843,786	△51,608	△107,776	△107,591	△266,975				
営業費用	18,573,989	2,109,587	377,611	21,061,187	18,434,044	1,995,666	270,020	20,699,730	△139,945	△113,921	△107,591	△361,457				
医療費用	17,743,119	2,060,105	0	19,803,224	17,631,307	1,939,717	0	19,571,024	△111,812	△120,388	0	△232,200				
給与と費	8,863,151	1,476,649	0	10,339,800	8,565,406	1,351,872	0	9,917,278	△297,745	△124,777	0	△422,522	退職給付費用の減による減	退職給付費用の減による減		
材料費	5,085,230	100,155	0	5,185,385	5,292,662	104,865	0	5,397,527	207,432	4,710	0	212,142	診療材料費や医薬品費の増			
経費	2,530,443	346,620	0	2,877,062	2,669,859	345,333	0	3,015,191	139,416	△1,287	0	138,129	機器賃借料の増			
減価償却費	1,167,854	128,423	0	1,296,277	991,866	128,004	0	1,119,870	△175,988	△419	0	△176,407	無形固定資産減価償却費の減等による減			
その他医療費用	96,442	8,257	0	104,699	111,515	9,642	0	121,157	15,073	1,385	0	16,458				
一般管理費	0	0	373,443	373,443	0	0	265,816	265,816	0	0	△107,627	△107,627				給与費の減等
控除対象外消費税等	830,870	49,482	4,168	884,520	802,737	55,949	4,204	862,890	△28,133	6,467	36	△21,630				
営業外費用	16,380	16,969	0	33,349	12,474	17,033	0	29,507	△3,906	64	0	△3,842				
臨時損失	16,226	0	0	16,226	108,469	6,081	0	114,550	92,243	6,081	0	98,324				
当期純利益	△45,770	30,754	△197,148	△212,164	426,985	212,510	△99,880	539,615	472,755	181,756	97,268	751,779				
目的積立金取崩額	55,857	2,970	0	58,827	76,678	2,512	0	79,190	20,821	△458	0	20,363				
(経常利益)	△30,022	30,754	△197,148	△196,416	470,397	199,322	△100,161	569,558	500,419	168,568	96,987	765,974				
(経常利益 本部費配賦込)	△187,740	△8,676	0	△196,416	390,268	179,290	0	569,558	578,009	187,965	0	765,974				
経 常 収 支 率	105.21%	97.44%	50.81%	103.43%	102.55%	109.90%	62.91%	102.75%								

(注:表示単位未満を四捨五入しているため、表内計算数値と一致しない場合がある。)

令和6年度収支計画と収支実績の対比

山口県立病院機構

【医業収益】

入院診療収益は、入院延患者数の減等により減少
外来診療収益は、外来診療単価の減等により減少

【医業費用】

給与費は、退職給付費用の減等により減少
材料費は、患者数の減に伴う診療材料費の減等により減少
減価償却費は、建設改良の減等により減少

◆対比表（損益計算書ベース）

（単位 千円）

区 分	収支計画	収支実績	差額	主な増減内容（計画対比）
収益の部	22,468,982	21,383,403	△ 1,085,579	
営業収益	22,366,418	21,196,703	△ 1,169,715	
医業収益	19,931,963	18,813,473	△ 1,118,490	
うち入院診療収益	14,915,827	13,897,196	△ 1,018,631	入院延患者数の減
うち外来診療収益	4,697,496	4,643,530	△ 53,966	外来診療単価の減
運営費負担金収益	2,053,746	1,946,419	△ 107,327	
補助金収益	84,732	111,169	26,437	
その他営業収益	295,977	325,641	29,664	
営業外収益	102,564	102,094	△ 470	
運営費負担金収益	16,057	13,984	△ 2,073	
その他営業外収益	86,507	88,107	1,600	
臨時利益	0	84,607	84,607	
費用の部	22,572,366	20,843,786	△ 1,728,580	
営業費用	22,498,372	20,699,730	△ 1,798,642	
医業費用	21,099,010	19,571,024	△ 1,527,986	
給与費	11,075,017	9,917,278	△ 1,157,739	退職給付費用の減による減
材料費	5,443,065	5,397,527	△ 45,538	診療材料費の減
経費	3,227,913	3,015,191	△ 212,722	委託費の減
減価償却費	1,142,062	1,119,870	△ 22,192	建設改良の減
その他医業費用	210,953	121,157	△ 89,796	医療従事者等確保費の減
一般管理費	449,176	265,816	△ 183,360	退職給付費用の減に伴う給与費の減
控除対象外消費税等	950,186	862,890	△ 87,296	
営業外費用	45,121	29,507	△ 15,614	
臨時損失	28,873	114,550	85,677	
当期純利益	△103,384	539,616	643,000	
目的積立金取崩額	0	79,190	79,190	
（経常利益）	△74,511	569,558	644,069	

（注）表示単位未満を四捨五入しているため、表内計算数値と一致しない場合がある。

◆令和6年度収支計画と収支実績との対比表（部門別内訳）

計	画	対	比
(単位 千円)			

区分	R6収支計画 A				R6収支実績 B				差額 (B-A)				主な増減理由(計画対比)			
	総合C	ころこ	本部	計	総合C	ころこ	本部	計	総合C	ころこ	本部	計	総合C	ころこ	本部	
収益の部	19,984,709	2,311,324	192,949	22,488,982	18,981,973	2,231,289	170,141	21,383,403	△892,736	△80,035	△22,808	△1,085,579				
営業収益	19,878,180	2,295,289	192,949	22,366,418	18,832,560	2,194,284	169,859	21,196,703	△1,045,620	△101,005	△23,090	△1,169,715				
医療収益	18,252,959	1,679,004	0	19,931,963	17,240,508	1,572,965	0	18,813,473	△1,012,451	△106,039	0	△1,118,490				
うち入院診療収益	13,452,819	1,463,008	0	14,915,827	12,532,635	1,364,561	0	13,897,196	△920,184	△98,447	0	△1,018,631	入院延患者の減 (160,600人→157,104人)	入院延患者の減 (61,495人→57,360人)		
うち外来診療収益	4,482,196	215,300	0	4,697,496	4,435,876	207,654	0	4,643,530	△46,320	△7,646	0	△53,966	外来診療単価の減 (21,997円→21,703円)	外来延患者数の減 (28,868人→27,649人)		
運営費負担金収益	1,318,448	542,349	192,949	2,053,746	1,239,179	537,381	169,859	1,946,419	△79,269	△4,968	△23,090	△107,327	建設改良の減			看護師養成確保事業に 要する経費の減
補助金収益	82,470	2,262	0	84,732	102,744	8,425	0	111,169	20,274	6,163	0	26,437				
その他営業収益	224,303	71,674	0	295,977	250,129	75,512	0	325,641	25,826	3,838	0	29,664				
営業外収益	86,529	16,035	0	102,564	84,356	17,737	0	102,094	△2,173	1,702	0	△470				
運営費負担金収益	8,645	7,412	0	16,057	6,165	7,819	0	13,984	△2,480	407	0	△2,073				
その他営業外収益	77,884	8,623	0	86,507	78,189	9,917	0	88,107	305	1,294	0	1,600				
臨時利益	0	0	0	0	65,057	19,268	282	84,607	65,057	19,268	282	84,607				
費用の部	19,871,476	2,244,151	456,739	22,572,366	18,554,987	2,018,780	270,020	20,843,786	△1,316,489	△225,371	△186,719	△1,728,580				
営業費用	19,817,915	2,223,718	456,739	22,498,372	18,434,044	1,995,666	270,020	20,699,730	△1,383,871	△228,052	△186,719	△1,798,642				
医療費用	18,927,549	2,171,461	0	21,099,010	17,631,307	1,939,717	0	19,571,024	△1,296,242	△231,744	0	△1,527,986				
給与費	9,506,877	1,568,140	0	11,075,017	8,565,406	1,351,872	0	9,917,278	△941,471	△216,268	0	△1,157,739	退職給付費用の減	退職給付費用の減		
材料費	5,336,581	106,484	0	5,443,065	5,292,662	104,865	0	5,397,527	△43,919	△1,619	0	△45,538	診療材料費の減			
経費	2,875,634	352,279	0	3,227,913	2,669,859	345,333	0	3,015,191	△205,775	△6,946	0	△212,722	委託費の減	委託費の減		
減価償却費	1,012,142	129,920	0	1,142,062	991,866	128,004	0	1,119,870	△20,276	△1,916	0	△22,192	建設改良の減			
その他医療費用	196,315	14,638	0	210,953	111,515	9,642	0	121,157	△84,800	△4,996	0	△89,796	医療従事者等確保費の減			
一般管理費	0	0	449,176	449,176	0	0	265,816	265,816	0	0	△183,360	△183,360				退職給付費用の減
控除対象外消費税等	890,366	52,257	7,563	950,186	802,737	55,949	4,204	862,890	△87,629	3,692	△3,359	△87,296				
営業外費用	27,411	17,710	0	45,121	12,474	17,033	0	29,507	△14,937	△677	0	△15,614				
臨時損失	26,150	2,723	0	28,873	108,469	6,081	0	114,550	82,319	3,358	0	85,677				
当期純利益	93,233	67,173	△263,790	△103,384	426,985	212,510	△99,880	539,615	333,753	145,336	163,911	643,001				
目的積立金取崩額					76,678	2,512	0	79,190	76,678	2,512	0	79,190				
《経常利益》	119,383	69,896	△263,790	△74,511	470,397	199,322	△100,161	569,558	351,014	129,426	163,629	644,069				
《経常利益 本部費配賦込》	△118,028	43,517	0	△74,511	390,268	179,290	0	569,558	508,296	135,773	0	644,069				
経 常 収 支 比 率	100.60%	103.12%	42.24%	99.67%	102.55%	109.90%	62.91%	102.75%								

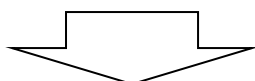
(注)表示単位未満を四捨五入しているため、表内計算数値と一致しない場合がある。

令和6年度業務実績評価

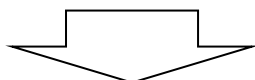
1 令和6年度業務実績の自己評価結果

(1) 自己評価の方法

- ① 年度計画の個別項目ごとに達成状況を5段階評価（5点、4点、3点、2点、1点）
※3点が標準（達成度90～100%未満）



- ② 年度計画の4つの大項目ごとに達成状況を5段階評価（s、a、b、c、d）
※bが標準（評点①の単純平均値2.7以上3.4以下）
（d/1.8以下、c/1.9～2.6、b/2.7～3.4、a/3.5～4.2、s/4.3以上）



- ③ 年度計画全体の達成状況を5段階評価（S、A、B、C、D）
※Bが標準（評点②の加重平均値2.7以上3.4以下）
（D/1.8以下、C/1.9～2.6、B/2.7～3.4、A/3.5～4.2、S/4.3以上）

(2) 自己評価の結果

◆全体的な状況

中期計画全体の進捗は「順調」（A評価）

◆評価概要

区 分	評 価 項目数	評点別項目数					評 点 平均値	評 定
		5点	4点	3点	2点	1点		
業 務 の 質 の 向 上	47	8	25	14	0	0	3.9	a
業務運営の改善及び効率化	7	0	4	3	0	0	3.6	a
財 務 内 容 の 改 善	1	0	0	0	1	0	2.0	c
そ の 他 重 要 事 項	3	2	1	0	0	0	4.7	s
全 体	58	10	30	17	1	0	3.6	A

※全体欄の評点平均値は、加重平均したもの

2 令和6年度の主要な成果

(1) 業務の質の向上

① 医療の提供

ア 県立総合医療センター

- (ア) 県の基幹病院として、高度専門医療を充実させるとともに、地域の医療機関との連携を強化し、県民により質の高い医療を継続的に提供
- (イ) 総合医療センターの建替えについて、診療部長等へのヒアリングや若手職員を対象としたワークショップ、先進病院の視察・報告会など、基本計画の策定のために必要な調査等を実施し、施設整備に係る基本計画（センター案）を策定するとともに、これを基に、県において、「県立総合医療センター施設整備基本計画」が策定
- (ウ) 腫瘍センターを設置し、カンファレンス等により、がん診療に関連する診療科や部門の連携を強化し、放射線治療や薬物療法など、集学的治療を効果的に実施できる体制を整備
- (エ) がんゲノム医療連携病院として、各診療科や他院からの依頼により、原因不明のがんや希少がんなどの患者に対して、がん遺伝子パネル検査を実施
- (オ) 手術支援ロボットセンターにおいて、前立腺がんや腎がん、胃がんなどの治療のため、ロボット手術支援機器の効果的な運用を推進し、より低侵襲で安全な治療を診療科横断的に推進
- (カ) 消化器内視鏡センターにおいて、鎮静下における苦しみや痛みの少ない内視鏡検査を行い、胃がんや大腸がんを早期に発見し、低侵襲な内視鏡治療を実施
- (キ) 心血管カテーテル治療室において、心臓疾患に対する高度専門医療を提供
- (ク) 人工関節センターでは、全国でも極めて例が少ないロボット2台体制による手術を実施。人工関節（股・膝）置換術件数は全国でトップクラス
・人工関節（股・膝）置換術件数 779 件（計画 600 件）
- (ケ) 院内で 365 日リハビリテーションを実施する他、後方支援病院と連携した連続的リハビリテーションを実施
- (サ) 萩市相島の巡回診療において、悪天候などにより、医師が現地に赴くことができない場合等において、オンライン診療できる体制を整備し、オンライン診療を実施
- (コ) 山口大学と連携協定を締結し、総合診療専門医の育成やへき地・在宅医療の体制強化のため、総合診療プログラムの連携などを実施

イ 県立こころの医療センター

- (ア) 精神科救急医療や司法精神医療に積極的に取り組むとともに、地域社会や他の医療機関と連携し、質の高い医療を提供
- (イ) 高次脳機能障害の障害特性に応じた支援を実施する相談支援事業所や、障害福祉サービス事業所等に従事する支援者の養成のため、高次脳機能障害支援養成研修を初開催
- (ウ) 大規模災害発生時に被災地域へ専門性の高い精神科医療及び精神保健活動の支援を行うため、「山口県DPAT設置要綱」が県において策定されたが、策定にあたり、基礎資料作成や助言等により支援
- (エ) 県内で初となる山口県DPAT研修を開催し、8 医療機関、38 名に対し、DPAT 隊員として活動するために必要な技能の取得ができるよう、講義や講習を実施

ウ 地域医療への支援

(ア) 患者支援連携センターにおいて、病病連携会議を開催するなど、地域の医療機関との連携体制を強化（総合C）

・紹介率 89.5%（50%以上）、逆紹介率 117.8%（70%以上）

※括弧内は地域医療支援病院の承認要件

(イ) 入院患者の転院調整について、県内初となる転院調整システムを導入し、防府市、山口市、周南市の 20 医療機関が本システムに加入し、電話と F A X による調整から転換

エ 医療従事者の確保、専門性の向上

(ア) 看護学生等に対し、ブースを設けた実地での職場紹介や近隣の看護部設置大学への訪問に加え、インターネットを活用した効果的な採用情報の発信に努めるとともに、We b を交えた採用試験の追加実施、随時実施を強化

(イ) 山口大学医学部附属病院との連携協定に基づき、山口大学医学部附属病院の医療人育成センターを活用し、防府市内の医療従事者を含め、研修などを通じて、最新の技術や知識を習得できる体制を整備

6 年度においては、I C L S 研修など、防府市内の医療機関から 145 名参加（防府医師会 28 名、病院機構 117 名）

(ウ) 山口県看護協会との連携協定に基づき、地域医療の発展に寄与するため、看護人材の確保及びその育成についての連携を強化

(エ) 厚生労働省より看護師の特定行為（集中治療領域パッケージ）に係る指定研修機関の認可を受け、10 月より院内看護師 2 名が研修を受講

オ 医療安全対策、患者サービスの向上

(ア) 院内迅速対応システム（R R S）を活用し、患者の急激な病態悪化を予防

(イ) 医薬品に関する院内情報誌を定期的に発行するなど、安全管理の充実に向けた取組を推進

(ウ) ヒヤリ・ハットを未然に防いだ事例などを「Goodjob 報告」として集約することで、インシデント報告数が増加

(エ) マイナンバーカードにより共有されている、患者の投薬情報を活用した安全な投薬ができるよう、電子処方箋を導入し、運用できる体制を整備

(オ) がん等に罹患した患者の治療と仕事の両立に関する相談を実施するほか、離職している患者への就職支援を実施（総合C）

(カ) 病棟再編による各診療センターの専門性に合わせ、専門・認定看護師がそれぞれの専門分野に関連するチーム医療を実施（総合C）

長期入院患者の地域移行の推進のため、多職種支援チーム（地域生活支援MD T）による退院支援を実施（こころC）

(キ) 患者及び来院者のニーズを把握するため、患者満足度アンケートを実施

・総合医療センター患者満足度 97.9%（計画 95.0%）

・こころの医療センター患者満足度 93.5%（計画 95.0%）

(ク) 県民公開講座のハイブリッド形式による開催、病院広報誌の定期発行、テレビ番組「やまぐち医療最前線」の放送などにより、健康情報や高度・専門医療の現状などの情報を発信

カ 施設設備の整備

- ・尿路結石に対し外科的手術を行わず、結石破碎が可能な「体外式結石破碎装置（ESWL）」を更新（総合C）
- ・難治症例の治療効果をより高めるためm-ECT、老朽化した冷却遠心分離機を更新（こころC）

② 医療に関する調査及び研究

疫学調査や臨床試験、多施設共同研究等を積極的に受託し、診断方法や治療方法の改善などに寄与

③ 医療従事者等の研修

医療関係の実習生の受入を実施

（初期臨床研修医 24 人、後期臨床研修医 7 人）（総合C）

（2）業務運営の改善等

① 内部統制の推進

内部監査規程やリスク管理規程に基づき、両病院を対象に内部監査を実施

② 効率的・効果的な業務運営、経営改善

ア 経営管理体制の強化

病院情報システムの更新において、事務部門含む、全部門で業務の効率化が実現できるよう仕様の調整を行った上で、プロポーザルを実施し、より適切なシステム業者を選定

イ 山口大学との総合診療プログラムの連携を着実に進めるため、へき地医療支援部に事務職員を配置し、体制強化

ウ 病院全体で一体となって収支改善を図るため、経営改善推進チームを設置し、経営改善計画を策定、実施、評価等を行った。収入強化及び支出削減の両面に渡り、改善項目を抽出・検討し、取組を推進

エ 2 病院の連携

医薬品の共同調達については、山口大学医学部附属病院を加えた 3 病院による調達を行い、効率的な業務運営を実施（値引率 R5:15.7% → R6:15.4%）

③ 収入の確保、費用の節減・適正化

ア 収益の確保

きめ細やかなベットコントロールにより病床を効率的に運用（総合C）

イ 費用の節減

全国の医療機関のデータに基づくベンチマークによる価格交渉などにより、適正な価格での契約・購入を実施

・材料費対医業収益比率 30.7%（計画 31%以下）（総合C）

・材料費対医業収益比率 6.6%（計画 6%以下）（こころC）

診療材料費について、加盟している共同購入組織の共同購入品の採用範囲の対象部門拡大による価格抑制

(3) 財務内容・経常収支の改善

ア 収支実績

病院機構全体の経常利益は、黒字となった。

(単位：千円)

区 分	R 6 計画	R 6 実績	差引
総合医療センター	119, 383	470, 397	351, 014
こころの医療センター	69, 896	199, 322	129, 426
機構本部	△263, 790	△100, 161	163, 629
法人全体	△74, 511	569, 558	644, 069

(参 考)

(単位：千円)

区 分	退職給付債務を 含む場合	退職給付債務を 含まない場合	差引
総合 C	470, 397	△83, 415	553, 812
こころ C	199, 322	59, 437	139, 885
機構本部	△100, 161	△152, 743	52, 582
法人全体	569, 558	△176, 721	746, 279

※退職給付債務（数理計算上の差異）

経営努力以外のところで発生するコストである退職給付債務が市場の金利上昇に伴い大幅に減少したため、経常収支は黒字となった。しかしながら、退職給付債務を除いた場合の経常収支は、引き続き赤字となっている。

イ 収益及び費用の状況

収益の部は、前年度に比べ 484, 806 千円増加

区 分		R6 実績	
		総合医療センター	こころの医療センター
入院	延患者数（人）	157, 104	57, 360
	診療単価（円）	79, 773	23, 789
外来	延患者数（人）	204, 390	27, 649
	診療単価（円）	21, 703	7, 510

費用の部は、前年度に比べ、266, 975 千円減少

ウ 経営指標の状況

- ・法人全体経常収支比率 102. 7%（前年度 99. 1%）
- ・総合医療センター経常収支比率 102. 5%（前年度 99. 8%）
- ・こころの医療センター経常収支比率 109. 9%（前年度 101. 4%）
- ・総合医療センター修正医業収支比率 97. 8%（前年度 92. 3%）
- ・こころの医療センター修正医業収支比率 81. 1%（前年度 78. 8%）
- ・総合医療センター流動性比率 166. 1%（前年度 168. 1%）
- ・こころの医療センター流動性比率 111. 2%（前年度 122. 8%）

(単位：百万円)

区 分	総合C	こころC	機構本部	法人全体
総収益	18,982	2,231	170	21,383
経常収益	18,917	2,212	170	21,299
営業収益	18,833	2,194	170	21,197
うち医業収益	17,241	1,573	0	18,813
営業外収益	84	18	0	102
臨時利益	65	19	0	85
総費用	18,555	2,019	270	20,844
経常費用	18,447	2,013	270	20,730
営業費用	18,434	1,996	270	20,700
うち医業費用	17,631	1,940	0	19,571
営業外費用	12	17	0	30
臨時損失	108	6	0	115
経常損益	470	199	△100	570
純利益	427	212	△100	540

(4) その他重要事項

① 人事に関する事項

- ア 職種別人材の需給状況や医療機関の採用状況などの情報収集に努め、採用試験のあり方について検証を行った上で、随時試験の実施及びW e b面接の採用等適切な採用試験の実施(総合C)
- イ 看護師等修学資金等を返還中又は返還予定の看護師や看護学生を対象とする修学資金返還支援給付金枠の採用試験を実施し、看護職員8名(看護師7名、助産師1名)の採用予定者を確保

② 就労環境に関する事項

- ア 職員満足度アンケート調査や職員ヒアリングの結果をもとに、実態に応じた勤務環境の改善を促進
- イ 夜間勤務者の負担軽減のため、夜間看護業務従事者子育て応援給付金制度により、夜勤協力給付金を支給
- ウ 全職員(総合C)を対象とした勤怠管理システムの本格運用を開始し、より適切な運用を図るため、随時使用方法の見直しを実施するなど、医師をはじめとする医療従事者の働き方改革の実現に向けた体制を整備

3 対処すべき課題

(1) 県立病院として対応すべき医療の充実（県立総合医療センター）

総合医療センターの機能強化については、がんや心筋梗塞などの循環器病等に対する高度急性期医療の強化、生殖医療や遺伝子医療をはじめとする最先端医療への取組、災害医療・感染症医療などの政策的医療への対応、へき地医療・小児医療などの地域医療への貢献という大きく4つの視点に基づいて図っていく。

具体的には、全県レベルの基幹病院としての役割を担うために、がんなどの高度専門医療に最先端の低侵襲治療や、がんゲノム医療等の充実、今後とも起こり得る新たな感染症に備え、ICU・HCUの増床や即時対応可能な一般病床の整備、病床の個室化など、診療機能の強化を図る必要がある。

また、6年度の決算状況を踏まえ、引き続き物価・人件費等の高騰が続くなかで、収益面では、新規入院患者の増加や病床稼働を高める取組、費用面では、診療材料費をはじめとする経費削減に向けた取組などを行い、経営の健全化、資金収支の改善を図る必要がある。

さらに、センターが将来にわたって本県の高度専門医療等の拠点として中核的役割を一層果たしていけるよう、昨年度策定された「県立総合医療センター施設整備基本計画」に基づき、センターの計画地内への移転建替えが発表された県環境保健センターや山口県看護協会を含め、県や関係機関とも連携を強化し、建替えをはじめとする機能強化の着実な実現に取り組む必要がある。

(2) 県立病院として対応すべき医療の充実（県立こころの医療センター）

精神科救急医療の基幹病院としての役割を積極的に担うとともに、児童・思春期、認知症等の専門診療体制の機能強化に向けて、多職種チーム医療の一層の充実を図っていく。

また、災害拠点精神科病院として機能充実に努めるとともに、災害派遣精神医療チーム（DPAT）のさらなる充実を図りながら、県と連携し、他医療機関のDPATの養成を行うなど、県全体のDPATの体制強化に貢献する。

(3) 医療従事者の確保

機能強化の効果的な実現に向けては、施設整備のみだけでなく、これらを有効活用できる人材確保及び育成が極めて重要である。高度専門医療を担う医師、看護師や薬剤師、臨床工学技士等を確保・育成するために、関係機関と連携した研修環境等の整備や医療従事者の勤務環境改善などを行う必要がある。

また、働き方改革や医療DXに対応していくため、ICTの活用や多様な勤務形態の導入、多職種によるチーム医療の推進など、長時間労働を是正し、業務負担の軽減に向けた取組等を行う必要がある。

◇ 令和6年度決算

1 企業会計ベース

(1) 貸借対照表の要旨 (令和7年3月31日現在) (単位 百万円)

資産の部		負債及び純資産の部	
固定資産	14,153	固定負債	10,484
有形固定資産	11,552	資産見返負債	948
土地	3,708	長期借入金	2,683
建物	5,214	移行前地方債償還債務	2,302
器械備品	2,591	退職給付引当金	4,552
その他	39	流動負債	3,862
無形固定資産	101	一年以内返済予定	1,171
投資その他の資産	2,500	未払金	2,004
流動資産	6,007	その他	688
現金及び預金	2,159	【負債合計】	14,346
未収入金	3,773	資本金	3,144
その他	75	資本剰余金	44
		利益剰余金	2,625
		【純資産合計】	5,814
合計	20,160	合計	20,160

(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。以下同じ。

(2) 損益計算書の要旨 (令和6年4月1日～令和7年3月31日) (単位 百万円)

費用及び損益の部		収益の部	
営業費用	20,700	営業収益	21,197
医業費用	19,571	医業収益	18,813
一般管理費	266	運営費負担金収益	1,946
その他	863	補助金	111
		その他	326
営業外費用	30	営業外収益	102
臨時損失	115	運営費負担金収益	14
当期純利益	539	その他	88
		臨時利益	84
合計	21,383	合計	21,383

2 官庁会計ベース

(単位 百万円)

収入の部		支出の部	
営業収益	21,018	営業費用	19,318
医業収益	18,813	医業費用	18,904
運営費負担金収益	1,946	一般管理費	374
補助金収益	111	その他	39
その他	147		
営業外収益	102	営業外費用	30
運営費負担金収益	14	臨時損失	0
その他	88	資本支出	1,459
臨時利益	0	建設改良費	503
資本収入	393	償還金	956
長期借入金	384	資金収支	787
その他資本収入	9		
目的積立金取崩額	79		
合計	21,593	合計	21,593

令和6年度事業年度評価（判断の目安）

〈個別項目別評価〉

評価基準	数値目標に関する項目	取組目標に関する項目 (左欄の項目以外の項目)
5 年度計画を十二分に達成	達成度 120%以上	取組の結果、所期の目的を上回る優れた成果等を得たとき
4 年度計画を十分達成	達成度 100～120%未満	取組の結果、所期の目的を上回る成果等を得たとき
3 年度計画を概ね達成 【標準】	達成度 90～100%未満	取組の結果、所期の成果等を得たとき
2 年度計画はやや未達成	達成度 70～90%未満	取り組んではいるが、所期の成果等を得られなかったとき
1 年度計画は未達成	達成度 70%未満	取組が行われていないとき

〈大項目別評価〉

評価基準	大項目内の個別項目別評価の評点平均値 (小数点以下第2位四捨五入)
s 中期計画の進捗は優れて順調	4. 3以上
a 中期計画の進捗は順調	3. 5 ～ 4. 2
b 中期計画の進捗は概ね順調 【標準】	2. 7 ～ 3. 4
c 中期計画の進捗はやや遅れている	1. 9 ～ 2. 6
d 中期計画の進捗は遅れている	1. 8以下

〈全体評価〉

評価基準	大項目内の個別項目別評価の評点平均値をそれぞれ各大項目のウェイトで乗じて得た数値の合計値 (小数点以下第2位四捨五入)
S 中期計画の進捗は優れて順調	4. 3以上
A 中期計画の進捗は順調	3. 5 ～ 4. 2
B 中期計画の進捗は概ね順調 【標準】	2. 7 ～ 3. 4
C 中期計画の進捗はやや遅れている	1. 9 ～ 2. 6
D 中期計画の進捗は遅れている	1. 8以下